第9回 中部縦貫自動車道事業費等監理会議 議事概要

1. 開催日時：令和6年11月28日（木）14:30～15:00

2. 開催場所：福井県警察本部葵分庁舎 第2会議室

3. 出席者：福井県 土木部長 田中 克直
道路建設課長 砂村 秀成
高規格道路課長 小川 裕樹
近畿地方整備局
道路部長 田中 倫英
福井河川国道事務所長 野村 文彦

4. 議 事：

○大野油坂道路事業の進捗状況等について確認した。

（事業進捗状況）

- ・ 国より、令和6年11月21日に開催した有識者検討会において、九頭竜・油坂区間の新子馬巣谷橋（仮称）において発生している工事課題について、詳細調査結果と発生要因、対策の方向性に関する事務局案を提示し、有識者から頂いた意見について報告があった。
- 下部工事（A1橋台・P1橋脚）については、当該箇所の地盤には大きなすべり面が存在し、強度の異なる岩石が複雑に分布していることが確認された。加えて、P1橋脚ケーソンの支持地盤強度不足が新たに判明した。法面動態観測結果等から、工事課題が発生した要因については、ケーソン施工基面の掘削による地山のゆるみや、ケーソン施工による地山の引き込み等であると推定される。そのため、橋梁の長期安定性の観点等を踏まえ、今後の方向性については、「地盤の動きを抑止する対策」や「支持地盤を変更し、ケーソン長を伸ばす対策」を実施していくこととし、有識者からは妥当との意見をいただいた。
- 上部工事（A2橋台側）については、地すべりが発生する可能性がある破碎帯の分布状況が現地踏査等により把握でき、その結果を踏まえ、上部工架設時のみ使用するコンクリートアンカーと永久構造物となる擁壁の構造を分けて設計を見直し、永久構造物は破碎帯を避ける対策の方向性に、有識者からは妥当との意見をいただいた。
- ・ このため、今後、下部工事については、対策工法の選定や詳細設計を進め、上部工事についても詳細設計を進め、次回有識者検討会において確認を行い、来年早々に具体的な対策方針を提示し、年度内を目途に、精査中の開通時期について、お知らせする予定との報告があった。
- ・ また、現在掘削中の大谷トンネルについては、引き続き、地盤の状況が悪く施工が難航している状況の報告があり、前回報告のあったリスク工事として、新林谷橋や新多母谷橋、道場切橋、新下半原トンネルの状況についても説明があった。

（事業費等監理）

- ・ 開通時期や設計の見直し等に伴い、事業費については引き続き精査を行い、精査完了後、速やかに結果を共有することの報告があった。

○福井県から以下の要請があった。

工程精査や事業費精査については、すみやかな実施と結果の共有をしていただき、工事の安全確保を前提に、県内全線開通を一日も早く実現していただきたい。

以 上